

科目コード	R24209	科目名	基礎理学療法評価学				
履修区分	必修	開講期	1年後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	甲田 宗嗣						
授業の概要	理学療法における評価の位置付け、検査・測定・評価の概要、各種情報の活用など理学療法評価学の基礎を学び、理学療法治療との関連について学ぶ。						
DPとの関連	平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						-
	修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						
	高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						
	地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						
	2025年度以降の学則適用者用のディプロマ・ポリシーとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は、項目順や表現が異なります DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	理学療法プロセスにおける評価の位置付けを説明できる。 問診により患者から情報を取得できる。 具体的な医療情報を与えられれば、理学療法を行う際に留意すべきことを調べることができる。						
履修上の注意事項	C-learningを利用するので、スマートフォン等にインストールし、準備しておくこと。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】			事前・事後学修		
	1	理学療法における評価の位置づけ			Webページ事前学習（60分）、ICFの復習（60分）、疾患と障害の関連を調べる（60分）		
	2	医療情報の収集と活用			Webページ事前学習（60分）、介護保険の理解（60分）、授業中に提示した論文2本抄読（60分）		
	3	全体像の評価			Webページ事前学習（60分）、インフォームドコンセントを調べる（60分）、面接技法の練習（60分）		
	4	生活機能（障害）に応じた評価			Webページ事前学習（60分）、検査・測定の尺度を考察する（60分）		
	5	臨床検査所見、画像初見の活用			Webページ事前学習（60分）、主な臨床検査初見の内容確認（60分）、画像の基本の項抄読（60分）		
	6	評価を理学療法に活かす			Webページ事前学習（60分）、理学療法プロセスの復習（60分）、検査・測定とICFの関係（60分）		
	7	診療録＝カルテの記録			Webページ事前学習（60分）、模擬症例のカルテ記載（60分）		
	8	まとめ			総復習（60分）		
成績評価方法	期末試験100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）				ISBNコード		
	理学療法評価学 改訂第6版・松澤正、江口勝彦（金原出版）				978-4-307-75068-4		
参考書	リハビリテーション医療に活かす画像のみかた・水間正澄、川手信行（南江堂）				978-4-524-25907-6		
教員からのメッセージ	疑問や分からないことがあれば、質問フォームを使って積極的に聞いてください。						
教員との連絡方法	C-learningを利用してください。						
実務経験のある教員	急性期病院での診療（整形外科、脳神経外科、呼吸器科、循環器科等）。回復期リハビリテーション病院の開業準備、診療（脳卒中、多発外傷、神経難病、脊髄損傷、下肢切断等）、管理業務。専門理学療法士（神経、運動器、基礎、教育・管理）、公認心理師、呼吸療法認定士。						